

I

- 第1問 問1 ①
問2 ④
問3 ⑥
問4 (a) ① (b) ④
問5 (a) ③ (b) ②
- 第2問 問1 ④
問2 ②
問3 ①
- 第3問 問1 (a) ① (b) ① (c) ②
問2 (a) ① (b) ① (c) ⑤ (d) ⑥ (e) ③
- 第4問 問1 (イ) ③ (ロ) ⑥ (ハ) ⑤ (ニ) ②
問2 ⑤
問3 ④
問4 ④
問5 ②
問6 ④
問7 (a) ① (b) ①

II

- 問1 イ. アンモニアソーダ (ソルベールも可)
A. NaCl B. NH₃ C. NaHCO₃
- 問2 (a) $4.00 \times 10^{-3} [\text{mol}]$
(b) $8.00 \times 10^{-3} [\text{mol}]$
(c) $2.00 \times 10 [\text{mL}]$
- 問3 $8.00 \times 10 [\text{mL}]$
- 問4 誤って用いた指示役の変色域までの塩酸の滴下量がメチルオレンジを用いた場合の滴下量より大きくなるので、二酸化炭素の物質質量も大きくなると予想できる。(72文字)

例年と比べて I 第3問の問2 グラフ読み取りの問題、第4問の問7 (b)は本学入試問題の中では高難易度の問題であったと思われる。

その他問題は計算も比較的標準レベルのものがほとんどだったので、確実に得点したい問題であったと思われる。